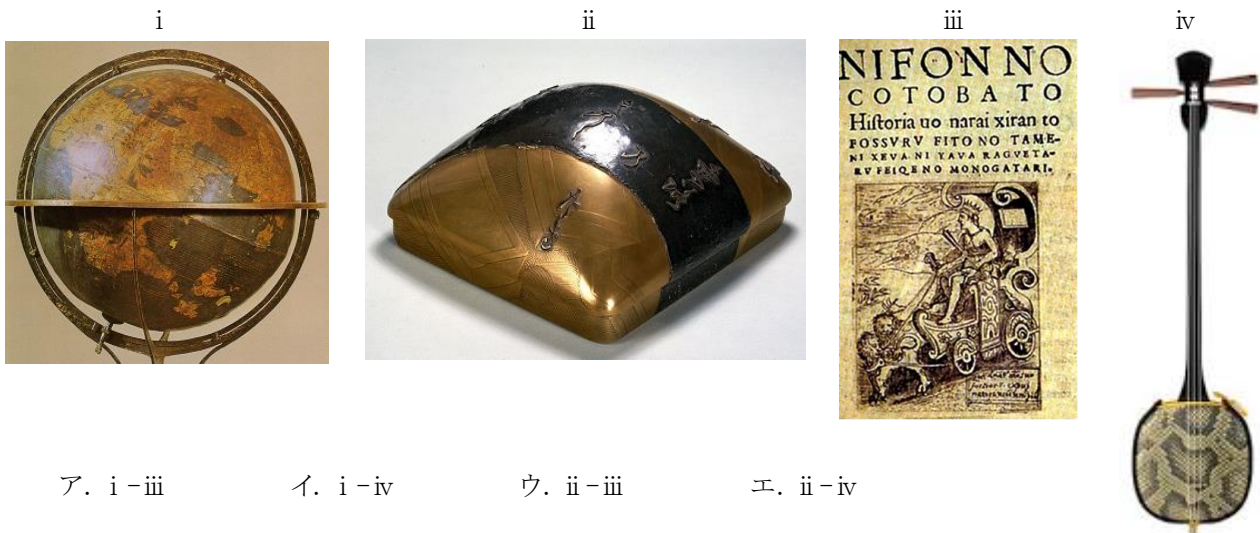


【 1 】 次の文章を読んで、後にある各問いに答えよ。

信長・秀吉時代の文化を a 桃山文化という。この文化では、特徴的な b 城郭建築が発達し、城内の襖ふすまや屏風には c 濃絵の障壁画が描かれた。また、武士から庶民にまで広く親しまれた茶道では d 佗び茶が大成され、芸能では e 出雲阿国が始めた踊りが人々の評判を呼ぶなど、庶民文化にもさまざまな変化が見られるようになった。

江戸初期の寛永期に入ると、幕藩体制が確立し安定した社会の中で、f 政治のありかたや個人の生き方についての知識や教えが求められるようになった。また、g 日光東照宮や h 桂離宮などの代表的建築物が建てられるとともに、i 俵屋宗達や j 酒井田柿右衛門など、優れた文化人が活躍した。

問1 下線部 a の時期に日本にもたらされた南蛮文化の影響を受けたものとして適切なものの組み合わせを、以下より選び記号で答えなさい。〈観点 c〉



- ア. i - iii      イ. i - iv      ウ. ii - iii      エ. ii - iv

問2 下線部 b は、戦国時代の間によくはその形を変化させてきた。変化の推移と、その理由を説明したものの組合せとして正しいものを以下より選び、記号で答えなさい。〈観点 b、観点 c〉

資料A(山城)



資料B(平城)



- 〈変化の推移〉 i 山城 → 平城      ii 平城 → 山城  
 〈変化の理由〉 iii 鉄砲の射程から少しでも離れるために高い場所へと変化していった。  
 iv 大量の物資の搬入をより容易にするために平地へと変化していった。

- ア. i - iii      イ. i - iv      ウ. ii - iii      エ. ii - iv

問3 下線部 c として **ふさわしくないもの** を、その特徴を考慮して以下より選び、記号で答えなさい。〈観点 c、観点 d〉

ア



イ



ウ



エ



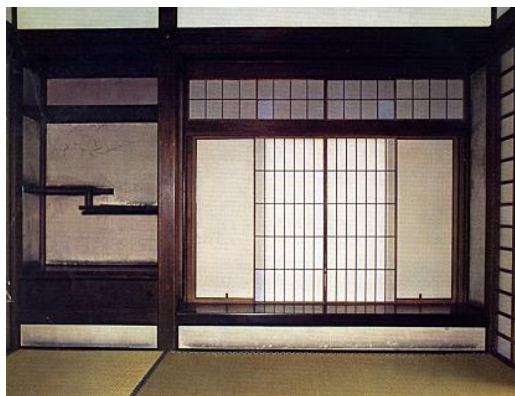
問4 下線部 d を大成した人物と、その思想のもとにつくられた茶室の組み合わせとして正しいものを、以下より選び記号で答えなさい。〈観点 c、観点 d〉

〈人物〉 i. 千利休

ii. 村田珠光

〈茶室〉 iii.

iv.



ア. i-iii

イ. i-iv

ウ. ii-iii

エ. ii-iv

問 5 下線部 e は現在まで続く日本の伝統芸能の基であると伝えられている。その伝統芸能の今の姿として適切なものを、以下より選び記号で答えなさい。＜観点 c、観点 d＞

ア



イ



ウ



エ



問 6 下線部 f として、封建秩序維持のために、後に幕府の正学とされた学問を、以下より選び記号で答えなさい。

＜観点 d＞

ア. 朱子学

イ. 心学

ウ. 陽明学

エ. 蘭学

問 7 下線部 g を以下より選び記号で答えなさい。＜観点 c、観点 d＞

ア



イ



ウ



エ



問8 下線部 h は<sup>すきやぶり</sup>数寄屋造の建物として有名である。以下の写真を参考にし、数寄屋造に用いられている建築様式として適切なものの組み合わせを以下より選んで記号で答えなさい。＜観点 b、観点 c＞



- ア. 寝殿造 と 茶屋建築      イ. 寝殿造 と 権現造      ウ. 書院造 と 茶屋建築      エ. 書院造 と 権現造

問9 下線部 i の人物の作品として適切なものを、下の【作品群】より選び記号で答えなさい。＜観点 c、観点 d＞

問10 下線部 j の人物の作品として適切なものを、下の【作品群】より選び記号で答えなさい。＜観点 c、観点 d＞

【作品群】

ア



イ



ウ



エ



【 2 】 次の文章を読んで、後にある各問いに答えよ。

5代将軍徳川綱吉期の元禄文化の担い手となったのは、a 三都の町人やその近郊の富農であった。特に経済と文化の先進地であった b 上方を中心として文化が花開き、文芸の普及や生活文化の著しい向上がみられた。そのような時代背景の下、多くの文化人によって華やかで現世的な c 文化が発展していった。また、そのような幕政の安定にともなって、様々な d 学問の発達もみられた。

問1 下線部 a に当てはまらない都市を、以下より選び記号で答えなさい。〈観点 d〉

- ア. 長崎                      イ. 江戸                      ウ. 京都                      エ. 大坂

問2 下線部 b はどこのことを意味しているか、適切なものを以下より選び記号で答えなさい。〈観点 d〉

- ア. 近畿地方                      イ. 関東地方                      ウ. 東北地方                      エ. 東海地方

問3 下線部 c について、以下の問いに答えなさい。

(1) 以下の絵に最も関係の深い語と人物を、それぞれ語群より選び記号で答えなさい。〈観点 c〉

①



②



③



④



〈語の語群〉

- ア. 人形浄瑠璃      イ. 浮世絵                      ウ. 歌舞伎                      エ. 琳派                      オ. 友禅染

〈人物の語群〉

- カ. 尾形光琳      キ. 近松門左衛門                      ク. 坂田藤十郎                      ケ. 宮崎友禅                      コ. 菱川師宣

(2) 以下のキーワードが全て関係する人物として適切なものを、語群より選び記号で答えなさい。〈観点 d〉

- ① 好色物、『日本永代蔵』、町人
- ② 蕉風、「月日は百代の過客にして行きかう年もまた旅人也」、「夏草や 兵どもが 夢の跡」
- ③ 上絵付法、色絵藤花文茶壺、京焼
- ④ 幕府御用絵師、洛中洛外図巻、大和絵

〈語群〉

- ア. 住吉具慶      イ. 井原西鶴      ウ. 松尾芭蕉      エ. 野々村仁清      オ. 角倉了以

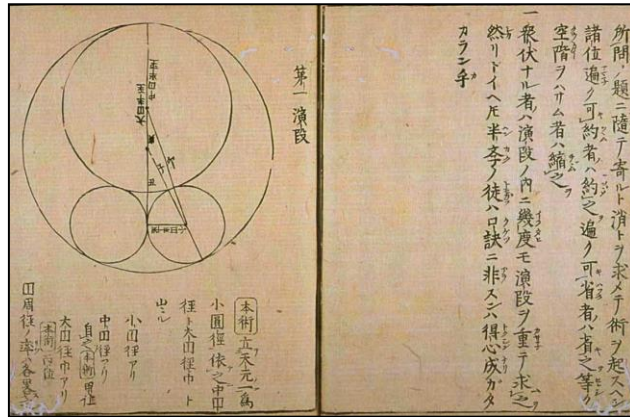
問4 下線部 d について、以下の問いに答えなさい。

(1) 以下の絵に最も関係の深い語と人物を、それぞれ語群より選び記号で答えなさい。〈観点 c〉

①



②



③



④



〈語句の語群〉

- ア. 貞享暦      イ. 和算      ウ. 農業全書      エ. 本草学      オ. 蔵志

〈人物の語群〉

- カ. 安井算哲      キ. 関孝和      ク. 宮崎安貞      ケ. 貝原益軒      コ. 山脇東洋

(2) 以下の文が説明する人物として適切なものを、語群より選び記号で答えなさい。〈観点 d〉

- ① 日本陽明学の祖とされ近江聖人と呼ばれた。著書に『翁問答』がある。
- ② 古学派の学者で、朱子学を批判したため赤穂に配流された。著書に『聖教要録』がある。
- ③ ①の門下生で池田光政に仕えた。幕政を批判したため下総古河に配流される。著書に『大学或問』がある。
- ④ 古文辞学派の学者で、江戸に護国塾を開いた。柳沢吉保や徳川吉宗に仕え、著書に『政談』がある。

〈語群〉

- ア. 中江藤樹      イ. 山鹿素行      ウ. 熊沢蕃山      エ. 荻生徂徠      オ. 山崎闇斎

(3) 朱子学について、その特徴を説明した文と幕府の反応の組合せとして適切なものを以下より選び記号で答えなさい。〈観点 b〉

- 〈特徴〉 i. 君臣の別をわきまえ、上下の身分秩序や礼節を重んじる大義名分論を重視した。  
 ii. 知行合一を説き、道徳を研究してその実践を重視した。
- 〈理由〉 iii. 幕藩体制の根幹である身分制度を正当化することについて都合がよいと考えた。  
 iv. 社会を批判する傾向が強く、危険思想として幕府に警戒された。

- ア. i - iii      イ. i - iv      ウ. ii - iii      エ. ii - iv

(4) 保科正之に仕えた山崎闇斎は垂加神道を唱えた。垂加神道を説明したものと、その後の影響を述べたものの組合せとして適切なものを以下より選び記号で答えなさい。〈観点 b〉

- 〈説明〉 i. 神は仏が仮に姿を変えてこの世にあらわれたものであるとした。  
 ii. 神道と朱子学を結合させた神儒の合一を主張した。
- 〈影響〉 iii. 国粹主義的な性格から、尊王運動に展開をしていった。  
 iv. 神仏習合が広く浸透し、日本に仏教が根付いていった。

- ア. i - iii      イ. i - iv      ウ. ii - iii      エ. ii - iv

【 3 】 次の文章を読んで、後にある各問いに答えよ。

1 以下の文章を読み、次の問いに答えなさい。

17世紀の日本では、鎖国のため西洋の文化に対する知識は一般的に低かったが、8代将軍徳川吉宗が1720年に  したことにより、次第に国内に広がっていった。その結果、国内では蘭学が盛んに学ばれるようになり 様々な a 西洋の学術が学ばれるようになった。同じころ、日本の古典を研究する国学の分野においては、「b 国学の四大人」と呼ばれる学者たちを中心として発展をみせ、幕末の  思想に大きな影響を与えることになっていった。このような学問の広がりは武士や庶民にも広く見られ、各地に藩校や郷学、c 寺子屋などがつくられていった。

問1 上記  に当てはまる適切な政策を以下より選び、記号で答えなさい。〈観点d〉

- ア. 漢訳洋書の輸入禁止を緩和
- イ. 公事方御定書を編集
- ウ. 目安箱を設置
- エ. 相対済し令を制定

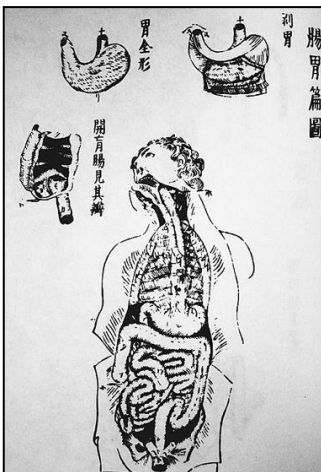
問2 上記  に漢字二字を入れ、後の倒幕運動のイデオロギーとなった思想を答えなさい。〈観点d〉

問3 下線部 a の分野で活躍した人物と最も関連の深い図を以下より組み合わせたときに、人物が一人余る。その人物の代表作を一つ答え、内容を10文字程度で説明しなさい。〈観点b、c、d〉

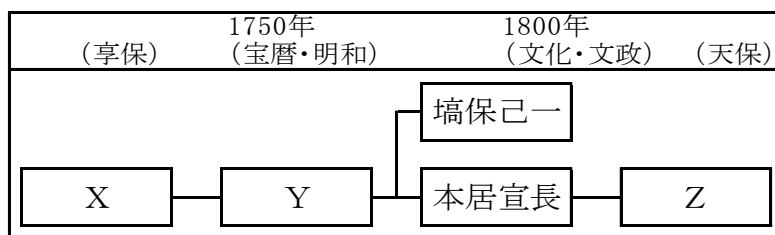
【人物】

平賀源内      杉田玄白      伊能忠敬      稲村三伯

【図】



問4 下線部 b について、下の表を参考に以下の問いに答えなさい。



① 上記の  ~  に当てはまる人物を、それぞれ以下より選び記号で答えなさい。〈観点c、d〉

- ア. 平田篤胤      イ. 賀茂真淵      ウ. 荷田春満      エ. 生田万

② この四人を説明した文を時代の古い順に並べ替えたときに正しいものを、以下より選り記号で答えなさい。

< 観点d >

- i. 伊勢松坂の医者。自宅の鈴屋で国学を教え、日本古来の精神への復帰を主張して国学を体系化した。『古事記』の注釈書である『古事記伝』を完成。
- ii. 京都伏見の神職。契沖の『万葉代匠記』を学び、『古事記』『日本書紀』を研究した。『創学校啓』を著し、国学の学校建設を徳川吉宗に提言した。
- iii. 秋田の人。復古主義・国粹主義の立場を強めて復古神道を唱える。江戸の私塾では佐藤信淵などの門人が集まり、農村では有力者の支持を受けた。
- iv. 遠江浜松の神職の子。『万葉集』『古事記』を研究し、『万葉考』で古語の解明に努めるとともに、『国意考』で復古思想を主張した。

ア. i → ii → iii → iv

イ. i → iv → ii → iii

ウ. ii → i → iii → iv

エ. ii → iv → i → iii

問 5 下線部 c ではどのような内容が教えられたか、簡単に説明しなさい。 < 観点b、d >

2 以下の文章を読み、次の問いに答えなさい。

大衆文化では、18世紀半ばから遊里での遊びを描く洒落本が流行するが、a 寛政の改革で取り締まりを受けた。19世紀初めには  などの滑稽本が人気を集めた。  は恋愛小説である人情本の代表的作家であったが、天保の改革で処罰された。歴史や伝説を素材にする読本では b 曲亭馬琴などが愛された。このころ浮世絵は、美人画の  が多色刷の版画である錦絵を創始したことから、庶民に身近な芸術となった。その後、多くの人物が c 風景画や美人画、役者絵などの分野で活躍した。また、長崎から d 西洋絵画の技法と油絵の絵の具が伝えられると、平賀源内、司馬江漢らが油絵に取り組んだ。他にも、e 歌舞伎など現代にも続く f 興業や娯楽、信仰がこのころに発展をみせていった。

問1 上記  に当てはまる『東海道中膝栗毛』などの代表作で知られる人物を、答えなさい。〈観点d〉

問2 上記  に当てはまる『春色梅児誉美』などの代表作で知られる人物を、答えなさい。〈観点d〉

問3 上記  に当てはまる人物を、以下より選び記号で答えなさい。〈観点d〉

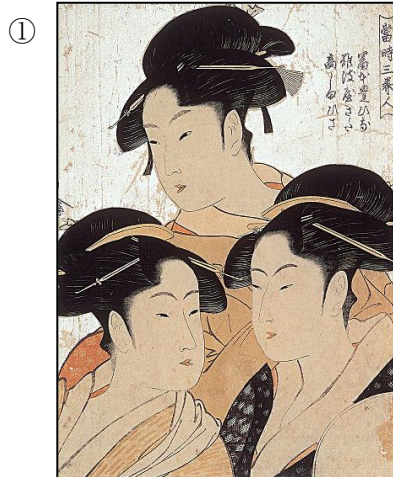
- ア. 鈴木春信                      イ. 渡辺崋山                      ウ. 円山応挙                      エ. 池大雅

問4 下線部 a に当てはまる『仕懸文庫』などの代表作で知られる人物を、以下より選び記号で答えなさい。〈観点d〉

- ア. 上田秋成                      イ. 恋川春町                      ウ. 葛屋重三郎                      エ. 為永春水

問5 下線部 b の代表作品を一つ答えなさい。〈観点d〉

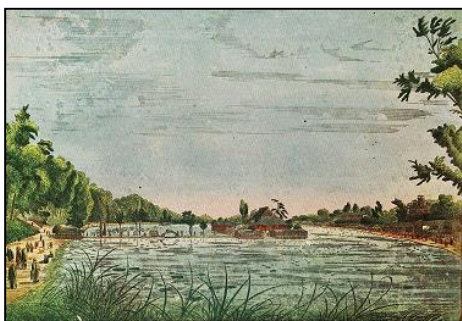
問6 下線部 c について、それぞれの作品の作者名を以下より選び記号で答えなさい。〈観点c〉



- ア. 東洲斎写楽                      イ. 歌川広重                      ウ. 葛飾北斎                      エ. 喜多川歌麿

問7 下線部 d として適切でないものを、以下より選び記号で答えなさい。＜観点 c＞

ア



イ



ウ



エ



問8 下線部 e を、その創世期以降から描いた以下の絵がある。これらを時代順に並べ替えたときに適切なものを、以下より選び記号で答えなさい。＜観点 c、d＞

i



中央の舞台の上では、多くの女性が輪になって踊っている。

ii



屋内に舞台も客席も設置され、多くの人が舞台を見て楽しんでいる。

iii



比較的小規模な舞台の上で、ある女性を中心にした踊りを、観客が楽しんでいる。

ア. i → ii → iii

イ. iii → ii → i

ウ. ii → iii → i

エ. iii → i → ii

問9 下線部fに当てはまらないものを、以下より選び記号で答えなさい。〈観点c〉

ア

イ

ウ

エ



**【1】〈解答〉 各1点、合計10点**

問1:ア 問2:イ 問3:イ 問4:イ 問5:エ 問6:ア 問7:エ 問8:ウ 問9:ア 問10:イ

〈観点a/関心・意欲・態度、観点b/思考・判断・表現、観点c/技能、観点d/知識・理解〉

**【2】〈解答〉 問4(3)(4)は各2点、それ以外は各1点 (合計30点)**

問1:ア 問2:ア

問3(1)〈人物〉①:ア ②:エ ③:オ ④:イ

〈語句〉①:キ ②:カ ③:ケ ④:コ

(2) ①:イ ②:ウ ③:エ ④:ア

問4(1)〈人物〉①:ア ②:イ ③:ウ ④:エ

〈語句〉①:カ ②:キ ③:ク ④:ケ

(2) ①:ア ②:イ ③:ウ ④:エ

(3) ア

(4) ウ

〈観点a/関心・意欲・態度、観点b/思考・判断・表現、観点c/技能、観点d/知識・理解〉

**【3】〈解答〉 記述解答は各3点、筆記解答は各2点、選択解答は各1点・・・合計30点**

1 (合計15点)

問1:ア 問2:尊王 問3:作品『ハルマ和解』 内容「日本最初の蘭和辞書」

問4 ① X:ウ Y:イ Z:ア ②エ 問5:「読み・書き・そろばん」

2 (合計15点)

問1:十返舎一九 問2:山東京伝 問3:ア 問4:エ 問5:『南総里見八犬伝』

問6:①エ ②ウ ③イ ④ア 問7:エ 問8:エ 問9:イ

〈観点a/関心・意欲・態度、観点b/思考・判断・表現、観点c/技能、観点d/知識・理解〉